

書く！ 描く！ 撮る！ 子どもたちが作るローカルマガジン

こどもローカルマガジン®
COLOMAGA project
コロマガプロジェクト 沼津市 内浦・西浦

Vol. **6**

2025

TAKE FREE

特集1 内浦 海の仕事人

内浦まき網漁業を知る
内浦漁協 組合長に聞く
いけすや市参戦

特集2 西浦みかんの今

プロフェッショナル 石倉さんのみかん
スパークリングへの挑戦
地ものシロップ かき氷えびな

みんなで行ってきたよ
金冠山ハイキング

GOOD DESIGN

KIDS DESIGN AWARD 2018



こどもローカルマガジン
COLOMAGA
コロマガプロジェクト
沼津市 内浦・西浦 **project®**

静岡教弘地域教育振興助成事業

沼津市・内浦&西浦の子どもたちがつくる地域の情報誌

うらっち Vol.6

2025年11月発行

発行人 コロマガプロジェクト沼津内浦西浦制作運営協議会
〒410-0234 静岡県沼津市西浦平沢92-4



2025 / Vol.6

タイトル・題字 / 奈央
うらっち Vol.1メンバー



イラスト / りさ、さつき



コロマガは「ESD」の実践活動

2013年度に産声をあげたコロマガは、子どもたちがこの制作を通して地域に愛着や誇りをもち「持続可能な社会を創りたい」という気持ちを育てられる実践的な活動と言えます。この「持続可能な社会の創り手を育てる教育」がESD(Education for Sustainable Development)と呼ばれているものです。同じ頃、2015年国連サミットで世界のリーダーが集まって2030年までの目標を定めました。これがSDGs(Sustainable Development Goals)といわれる17の目標と169のターゲットからなるものです。今、世界中でこの目標を達成するために産・官・民・学のあらゆる機関を上げて取り組んでいます。そしてこのSDGsを達成するためのエンジンがESDであるといわれています。子どもたちの未来のためにみんなでコロマガの取り組みを応援してください。

ESD-J理事 大塚明

うらっちVol.6のテーマは

「海と山の仕事人」

内浦には漁業、西浦にはみかん栽培といった地域に根ざした産業を守る仕事人が数多くいます。日頃の苦労や喜び、工夫などを知り、これからも地域産業が継続、発展するようにと願いを込めて取材しました。

特集1 内浦 海の仕事人

- 04 | 内浦まき網漁業を知る
内浦漁協 組合長に聞く
いけすや市参戦

特集2 西浦みかんの今

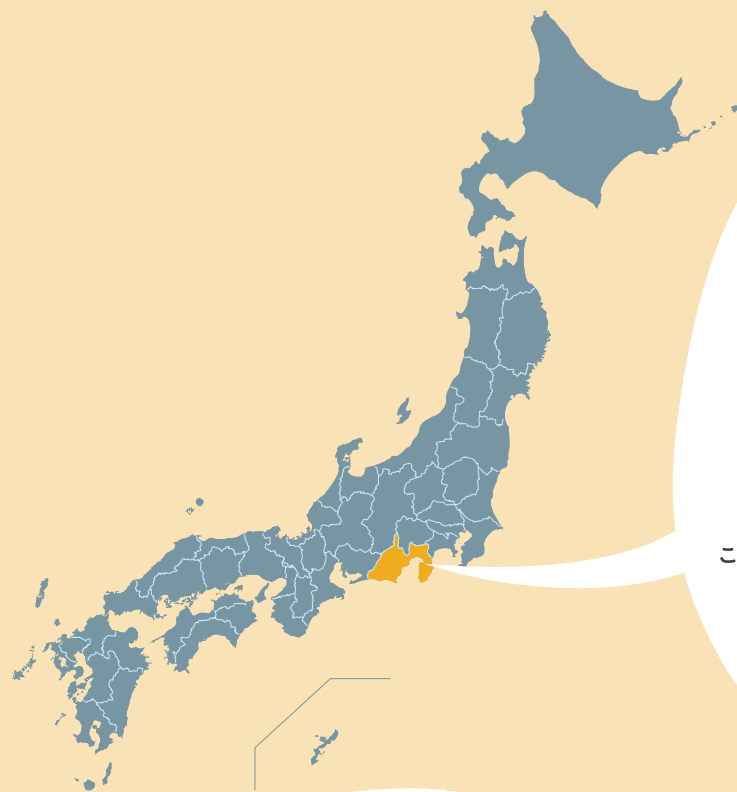
- 08 | プロフェッショナル 石倉さんのみかん
スパークリングへの挑戦
地ものシロップ かき氷えびな

みんなでやってきたよ

- 11 | 金冠山ハイキング
- 12 | フォトギャラリー うらっちVol.6ができるまで
- 13 | 沼津市・内浦&西浦 うらっちVol.6 取材マップ
- 14 | 編集後記
- 15 | COLOMAGA Projectの活動について

facebookやってます!
@uracchi.uchiura.nishiura

Instagramやってます!
@uracchi_uchiura_nishiura



こどもローカルマガジン
COLOMAGA
コロマガプロジェクト project®

わたしたちは、
このコロマガプロジェクトを通して
こんな社会を実現していきたいと
思っています。

ふるさとを自慢できる
子どもたちが
増えること

ふるさにと住みたい、
ふるさどで働きたいと思う
子どもたちが増えること

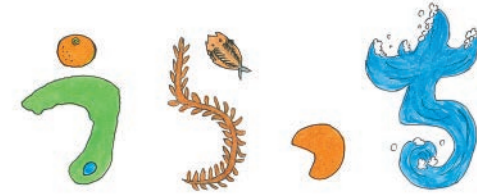
子どもたちの
創造性・独創性を
育み活かす機会が
増えること

「デザインの力」を
理解できる
子どもたちが
増えること

地域コミュニティに
関心を持つ
大人と子どもたちが
増えること

こんなことが増えれば、
日本の未来はとても明るい!

コロマガプロジェクト 沼津市 内浦・西浦



「沼津市南部に位置する内浦と西浦の魅力を
地域の人に届けたい。」をコンセプトに
活動しています。

この冊子の名前『うらっち』は内浦と西浦の「浦(うら)」に、「仲間」や
「家・家族」の意味の方言「っち」を繋げ、
内浦と西浦まるごと仲間や家族のような存在だと
親しみを込めて、vol.1制作時のメンバーが
名付けました。

「この活動いいね」と思ってもらえたら
応援お願いします
サポーターになってください
この活動は有志による非営利活動です。

法人の方へ 次世代を担う子どもたちの育成は、CSR活動やSDGsの推進の一環にもなり、事業者としての社会的な責任を果たすことができます。ぜひご相談ください。

個人の方へ 自分の暮らすまちを好きになり、故郷を自慢できる子どもたちを応援するこの活動の応援をお願いします。

ご寄付・金額の目安

個人の方	一口 5,000円/年	法人の方	一口 10,000円/年
------	-------------	------	--------------

ご寄付の振込先

富士伊豆農業協同組合 西浦みかん支店 普通口座 0056197
口座名義：コロマガプロジェクト沼津内浦西浦制作運営協議会
連絡先：TEL 090-1410-8778 MAIL uracchi.numazu@gmail.com
サポーター申し込みフォーム：
<https://forms.gle/E8srPX5yPKGH4PrF7>
※お振込の場合はお名前と連絡先をメール等でお知らせください。



応援特典

- 冊子とホームページにお名前を掲載します。(ご希望の方)
- 冊子の完成発表会にご招待します。

うらっち応援Tシャツプロジェクト

内浦AJINAMICHI・西浦JYUTAROAD 地域の宝の地図をモチーフにしたTシャツを10枚から作成、または店舗などで購入できます。売上の一部がうらっちの活動資金として活用されます。

【お問合せ】



Locate (ロケイト)
TEL 090-1410-8778(事務局 渡辺)
MAIL locate.numazu@gmail.com



業漁あみまき浦内

を知る

タイトル/コータロー、七瀬 イラスト/Juna、七瀬、カズキ、wataru 写真/コータロー、Mina、一部漁師さん提供

海を舞台に魚群を巧みに包み込む「まき網漁業」。伝統的そして効率的な漁法を支え、自然と向き合うたくましい漁師たち。今できる技術を工夫し、海と共に生きる、まさに海の仕事人。3人の漁師に聞いてみました。

まき網漁業は、それぞれの役目を持った、網船、運搬船、灯船が船団になり、漁港を夕方に出て、夜明けまで漁をします。

魚の群れは、ソナーという機械で探します。昔は魚群探知機で探していたそうですが、40、50年前から、ソナーを使うようになりました。

そして、魚の群れのところを網でぐるっと囲みます。使う網は、円周が750から1000メートルくらいあり、主にイワシやサバなどを獲ります。獲れる時は一日で大体10、20トン。でも獲れないこともあります。

内浦のまき網漁業は、海勢丸、神恵丸、長宝丸の3船団があります。

(Mina)



まき網漁業って？



①2隻でいっしょに沖へ行く



②2隻で直径1kmの円を描く



③クレーンで網を持ちすくい上げる



④魚が獲れる



夢は広がる

これからの夢についても語ってくれました。これからは、魚を獲るための設備を充実させたり市場と連携いして何かの行事などできたら・・・目を輝かせながら話してくれました。どんなことが始まるのか楽しみです！

(Juna)

当たり前前の 毎日を楽しむ

魚が獲れる量は毎日正確にわかるわけではなく、自然災害など、何が起きるかは分かりません。でも自分たちが頑張って、魚がたくさん獲れると嬉しいし、スパーなどに行き今日獲れた新鮮な魚！」と自分たちが獲った魚が並び、それをお客さんたちが買ってくれるのを見ると、一番心に刺さるそうです。辛いことがあるから当たり前前の毎日がもっと楽しくなると平さんは言います。確かにその通りですね。

代々まき網漁業をしている家系で、それを引き継いだ金指了平さんにお話を聞きました。



金指了平さん

がんばる若手
漁師

漁師人生のはじまり

金指治幸さんは、20歳から44年もの長い間長宝丸に乗って漁をしています。子供の頃は、気象予報士になりたい思いもあったそうですが、代々家系が漁師だったので、その職業をつぐことにしたそうです。(ちなみに、もともと魚はあまり好きではなかったそうです)

厳しい、危険、 過酷な仕事だけど

沖で仕事をする漁師さんは年収が高いそうですが、実際はとても過酷で厳しく、やめたいと思ったことが何度もあったそうです。天候が悪化し、波が荒くなると、酔って体調が悪くなったり、船が揺れて海に落ちそうになったりするなど危険なこともあったそうです。

昔は、天気予報があまり当たらず大変だったそうですが、今は、天気予報はだいたい当たるので、



タイトル/ kokoRo



金指治幸さん



まき網の愛されキャラ
渡邊智明さん



自然相手にしている仕事なので、難しさはあるけれど、たくさん魚が獲れたらいいな、魅力ある水産業になれば！

魅力ある仕事

治幸さんは「いい魚がたくさん獲れると嬉しい。また、それが漁業の町である地域への貢献にもつながる。」また、「漁師になる人は減っていて、港から船がなくなるかもしれないと思うと悲しい」とお話していました。そうならないためにも若い人がどんどん漁業をやってくれると嬉しいそうです。

僕も内浦や西浦から、魚に関するお仕事が減ってしまうのは悲しいと思います。治幸さんのお話を聞いて、漁師は大変だけど、魅力ある仕事だと思いました。僕は魚が好きです。もっと、魚や漁業のことを知りたいと感じました。

(コータロー)



内浦まき網三船団

かいせい
海勢丸

じんえい
神恵丸

長宝丸



協力 長宝丸 金指治幸さん
神恵丸 渡邊智明さん
長宝丸 金指了平さん

内浦漁協

組合長に聞く

タイトル / Juna イラスト / kokoRo、Arisa 写真 / カズキ、コータロー

自らは養殖業に従事し、変化する気候にも負けない新しい技術を取り入れ仕事に励む、内浦漁協組合長の高田義孝さん。内浦湾の漁業への思いを聞きました。



組合長高田さんと取材チーム

養殖にAI活用!?

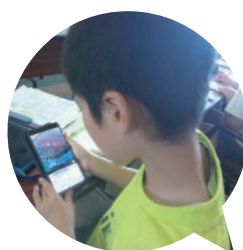
高田さんは養殖業を営んでいます。海の上のいけすは、スマホで魚の様子を24時間監視することができて、今ではAIが自動で餌やりなどをしてくれるそうです。スマホの画面を見させてもらいました。

養殖で一番大変なことは自然災害です。土砂崩れがおきると魚のエラに土が詰まり窒息死してしまうことがあります。草や木を生やしたりコンクリートの壁を作ったりすることで土砂崩れの対策が出来ます。高田さんは、生産量があがってほしい、これからは長生きしてこの仕事を続けていきたいと語っていました。

組合長、未来を考える

組合長の高田さんはこれからも魚を未来に残していきたい、世の中に魚のことを知ってもらいたいと熱く語っていて、未来のことを考えてお仕事をしているんだなと思いました。

(kokoRo)



組合長のスマホに海の上のいけすの画像が！



内浦漁協



船を出さなくても魚の様子を確認できる

木の板に船の名前。入れた魚をここにしておきます



にさばき所

駿河サバ干し
おいしそう！



協力
内浦漁業協同組合 沼津市内浦三津88-34 TEL 055-943-2316
いけすや 沼津市内浦小海30-103 TEL 055-943-2223

漁師の生活

タイトル / Arisa イラスト / Arisa、Juna



特集
1 内浦
海の仕事人

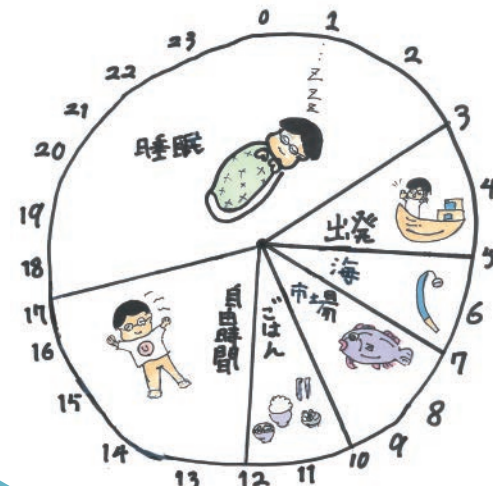
夜のおシゴト

まず、仕事の日には夕方4〜5時に漁港から出発し、3時間から長くて4時間もかけて漁場へ向かいます。暗い中、漁場に明かりを入れて獲る漁法です。

朝の5時から7時には市場へ向かい、水揚げします。7時から9時に帰宅をし、帰宅後は午後3時頃まで寝るそうです。

これが基本的なスケジュールで、了平さんは日によって海の様子・獲れる魚の量によって働く時間が増えたり、短くなったりするのがサラリーマンとは違って面白いと、生き生きと語ってくれました。

了平さんの
ある日のタイムスケジュール



つぎやす 月休みって何？

「月休み」とは満月の日を中心とした5日間漁に出ない日。満月の光で船の明かりに魚が集まってくるから、その5日間の漁は休み。月休みの間に網を修理したり、休暇を取ったりしている。



タイトル / リュウジ イラスト / Tsumu 写真 / Tsumu

生産量日本一を誇る「養殖マアジ」の提供を中心とした内浦漁協直営のお店「いけすや」。10周年を迎えたイベントには、遠方からもたくさん訪れ、うらっちのメンバーも参加し楽しく過ごしました。

いけすやは市には、いろんなお店がありました。例えばベイトボトルを釣るゲームや、今田さんのみかんジュースの販売など。もちろん僕たちうらっちもお店を出しました。お昼前になって、まき網船団のサービスで、駿河サバの干物が無料で配られはじめました。その無料という言葉聞いた人たちが、次々と並んで、なんと50人ぐらいが並んでいました。いけすやは市はすごくにぎわっていて、僕はいけすやは人気があります。出ているな〜と思いました。

(wataru)

お休みの楽しみ方

休日は寝て、仕事の日を振り返りお酒を飲みます。また遊びに出かけたり趣味の釣りをしたりして過ごしています。

漁で獲った魚を持ち帰り、奥さんが料理してくれて一緒に食べたり、いいものが釣れるとお魚を売ってそのお金で外食に行ったりするのも楽しみです。

忙しい仕事だけどその中でも面白さがあり、素晴らしいお仕事だなと、実感しました！

(Arisa)



缶バッジが売れました！



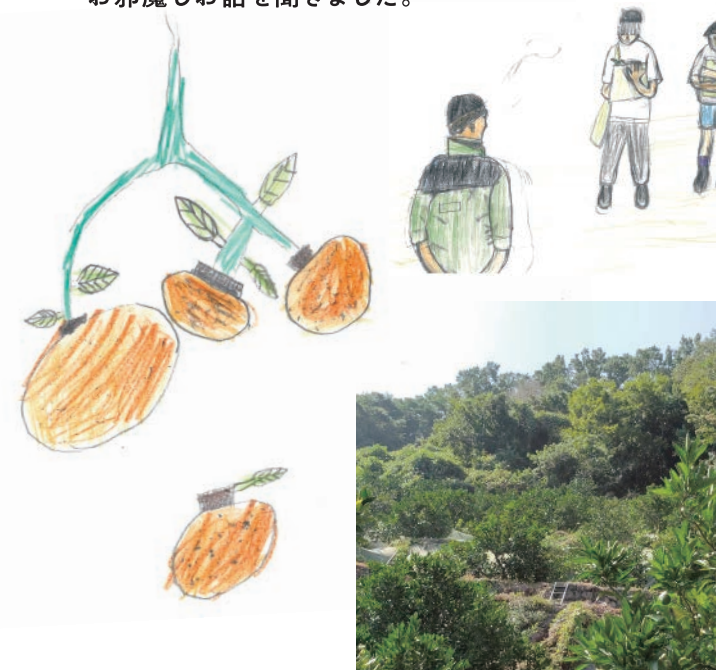
いしくら さんのみかん

タイトル / Mina, Juna, Tsumu イラスト / 七瀬、けい、リュウジ 写真 / Juna, Tsumu

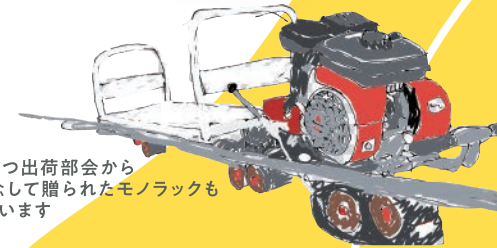
いしくらたけし
西浦河内の石倉健さんが、丹精込めて育てた「西浦みかん寿太郎」品種が、令和7年、西浦みかん産地から初の「農林水産大臣賞」受賞に輝きました。その並々ならぬ努力と工夫とは。みかん畑にお邪魔しお話を聞きました。

脱サラから、 受賞までの道のり

石倉さんは元々、会社員として働いていました。が、農家を営んでいた両親が元氣なうちに、農家をついだそうです。
石倉さんは肥料のことなどをノートにまとめるなど、日々努力を重ねていきました。
そして、今ではみかん農家歴16年です。日々の努力があったからこそ、すごい賞が取れたのだと思います。



西浦かんきつ出荷部会から
受賞を記念して贈られたモノラックも
活かしています



マルチシートの秘密

石倉さんの畑には工夫がいくつもあります。特に私が印象に残ったことは、マルチシートです。マルチシートとは白くて大きく、畑一面にみかんの木と木のあいだに敷いて使うものです。シートを敷くことで、みかんの木に与える雨水量を調整できます。また、白いシートに太陽の光が当たって反射することでみかんや葉っぱの影で光が当たらないみかんにも、光が当たるようになります。マルチシートを敷くことはみかんをより甘くするための大事なポイントです。

石倉さんの今後の目標は、自分と同じ、みかんを作っている人の役に立ちたいと、晴れやかな笑顔で語ってくれました。

(Juna・Tsumu)



畑の中はマルチシートがまぶしい

「静岡県貯蔵ミカン品評会」は、静岡県内で生産された貯蔵みかんの品質向上を目的として開催される品評会で、県内の農家から出品されたみかんの形、色、艶、そして甘みや酸味などの品質を審査します。品評会の上位入賞者は、県知事にみかんを贈呈するなどの活動を行い、静岡県産貯蔵みかんのブランド力向上に貢献しています。第59回にあたる今回は175点出品され最高賞は農林水産大臣賞になります。

豊かな自然に引かれ

愛知県名古屋出身の今田さんは、もともと自動車メーカーに勤めていました。
地元とは違う豊かな自然に魅力を感じ沼津に引っ越しをしてきました。沼津には「寿太郎みかん」という美味しいみかんがあることを知り、(もっと多くのの人にこのみかんを知ってほしい)という思いからみかんを使った飲み物などを作ることにしました。

日本初ドリンク誕生

そうしてできたのが、「みかんスパークリング」です。「みかんスパークリング」はみかんの果汁と炭酸水を混ぜたわけではなく、みかんの100パーセント果汁にゆっくり時間をかけて炭酸ガスをいれるという珍しい作り方をしています。私も飲ませてもらいました。「みかんスパークリング」はとてもおいしかったです。「レモネードスパークリング」は少し苦味があって、大人の味だと思いました。



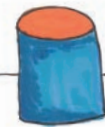
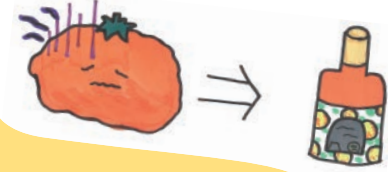
淡島ホテルや
豪華客船 飛鳥IIIなど
高級なホテルなどでも
取りあつかわれています



タイトル / りさ イラスト / Juna 写真 / Juna, Tsumu

への挑戦

西浦みかんの可能性を信じ、どこにもないモノを開発し注目を集める今田隼輔さん。その熱意はどこからくるのでしょうか。勇気と覚悟を持って臨む姿を取材しました。



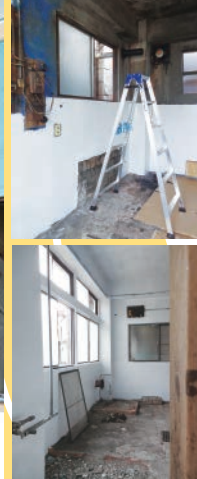
今田さんの挑戦

今田さんは、美味しく食べられるのを見た目が悪いという理由で処分されてしまうみかんを使ってジュースを作るための加工場をつくっています。以前豆腐屋だった場所を借りて、内装を一から作り変えるという作業を一人で少しずつ進めています。壁や床がどんどん加工場にちかづいてきています。とても忙しいなか、今までになくて、あったら嬉しいものはなにか、どこで売れるかなど考えながら、作業をしているそうです。

(七瀬)



古い建物をみかん加工用の場所に。
真っ白なかべに塗り変えるのも
大変な作業です。



協力 かんきつ商社Aquamarine





かつて西浦小学校の遠足で登っていた金冠山。険しい山道の先にある山頂からはどんな景色が見えるのでしょうか？

みんなでやってきたよ



ハイキング

タイトル / wataru 写真 / kokoRo
イラスト / kokoRo, Mina



山頂まであとひと登りの場所で休けいー
棒をかついで山頂まで！

下山注意



(Mina)



戸田の町が見える！

山頂かと思いきや

登っていくと、淡島から戸田までの景色が見えて綺麗で風が気持ち良い場所にきました。そこが頂上かと思いきや、まだ先があったのですっかり騙されてしまいました。

山頂には金冠山と書かれた石碑がありました。お地蔵さんのような大ききで、お供え物が置いてありました。

下山でトラブルが？！

下山のときは登るときよりも楽でした。けれど坂が急で、テレビ番組のサスケに出てくる『反り立つ壁』のような場所があって、雨上がりだったので三人で手を繋いで行ったらみんな順番に何回も滑ってしまいました。大変だったけれど楽しかったです。

ワクワクドキドキ山登り

ジリジリと暑い6月1日、金冠山へハイキングに行きました。金冠山は沼津市と伊豆市にまたがる標高816メートルの山です。
市民の森にはゴルフができそうな広さの池がありました。そこにはいろんな色のコイがいて面白かったです。そこから尾根道コースで山頂を目指しました。少し登ると木がたくさんありました。頑張って短い枝を抜いて、根っこを上についたら仙人のような杖になりました。森の道は落ち葉が落ちていて、不思議な森みたいで、トトロが出そうな雰囲気がありました。
道中数種類のきのこにも出会いました。きくらげも生えていてびっくりしました。山は落ち葉や木の枝が落ちていて滑りやすくて登るのがとても大変でした。

(さつき)

地ものシロップ



西浦みかんの今 2

タイトル / さつき

タイトル / Tsumu イラスト / Arisa, Mina, さつき, コー太郎
写真 / kokoRo, Arisa, コー太郎

注目のかき氷店、えびなの手作りシロップには、家族と地域への愛がギュッと詰まっています。おいしさに思わず笑みがこぼれるレポートを送ります。

シロップのシーズン表

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
いちじく、ジンジャー、あまざけ、さつまいも、おかし、甘夏、ばいりん、(おのり)	マンゴー	青りんご、いちじく	さつまいも、おかし、くり	かき		
うめ、とうもろこし、黄白						
ミカド、きんぎょ、まき、きんぎょ、ココア、キャラメル、バナナ、ごま、くらみ、まなこ						

きせつ限定

しぎやさん



かき氷えびな誕生

まだまだ暑い8月31日にかき氷えびなを取材しました。
喜多榮子さんと畑山亜弥子さん母娘が、かき氷えびなを営んでいます。以前は亜弥子さんのお父さんがお寿司屋さんをやっていた。お父さんが亡くなって、お店で何をしようか考えたところ、お父さんが奈良で食べたおいしいかき氷の話をしてくれたことを思い出したので、きつけだそう。

えびなならではの味

かき氷えびなでは、地元の内浦西浦など近くの美味しい果物などの作物を活かしてシロップを作っています。特に夏限定の『青みかんかき氷』がオススメです。シロップは自家製で、手作業で果汁しぼり機で摘果みかんをしぼって作っています。
そのかき氷の上にエスプーマがのっていてもふわふわです。ミルクに亜酸化窒素を入れて作るそうです。氷にもこだわりがあり、少し溶かした状態から削るとふわふわになります。
かき氷えびなのふわふわかき氷を一度食べてみてはいかがでしょうか？

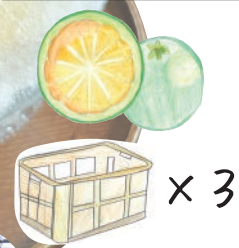
(さつき)



青みかんシロップ

コンテナ3つ分の摘果みかん

しぼり機でしぼる



大きなコンテナ3つ分の摘果みかん、全て手作業でシロップを作っています。

摘果(てつか)みかんとは
みかんの品質、サイズ、収量を安定させるために、成熟前に摘み取られた未熟なみかん



協力 かき氷 えびな
沼津市内浦三津88-22
4月から10月までの期間限定営業
11:30~16:00
定休日 水・木・金



完成

11月16日
完成発表会

山登りがキツかった。次登るときは山登り用のくつにしたいと思った。
(さつき)

金冠山で同じ場所で3人連続で滑って大笑いした!
(さつき、Mina、kokoRo)

山が険しくて大変で、登りきれないと思った。
(kokoRo)

わたるくんが、葉っぱについてた水がかかってぬれちゃった。
(けい)

木の棒を友達と
かっついで頂上まで登った。
とちゅう、リュックサックを棒にかけて歩いたらその方が
きつかったのですぐやめた。
(コータロー)

5年間うらっちで活動したことを、「静岡県こども若者意思提案実現プロジェクト」で発表したら、優秀賞!
(かの)

原稿を作りながらも、さわい
だりして楽しくできた。
(Arisa)

放課後に理科室を借りて活動しました

うらっち理科室

取材

編集部で
下見の日も
快晴でした

この棒ね!

デザイン講座

紙面のレイアウトに注目!

おまけのウラ話付き!

フォトギャラリー

うらっちVol.6ができるまで

5月 初回オリエンテーション

みんな集合!

フォト講座

筆箱にうらっちの缶バッジをつけてたら高校の友達に「うらっち」って呼ばれるようになった。
(ナオ)

ライティング講座

伝わる文章の書き方って・・・?

イラスト講座

クロッキーに真剣に取り組みました

取材

楽しいみかんしぼり

取材でかき氷を食べられて
すごくうれしかった。
(Arisa)

取材

カメラさんががんばってます

今田さんのズボンに白い
ペンキがついていて、東京
とかならオシャレに見える、
と聞いてびっくりした。
(Juna)

転校してすぐうらっちに入
って「緊張するな」と思ってい
たけど、取材でみかんとレモ
ネードスパークリングを飲ん
で「うらっちに入って良か
った」と思った。
(りさ)

沼津市・内浦&西浦 うらっち Vol.6 取材マップ

イラスト / Arisa, Juna

取材スポット



こどもローカルマガジン COLOMAGA project

Point 1

子どもたちが自分のまちを 取材し冊子を作る。

『COLOMAGA(コロマガ)』は、こどもローカルマガジンの略。子どもたちとプロのクリエイターが自分の“まち”を取材し、ローカルマガジン（地域情報誌）と一緒に作る非営利の活動です。現在、東京都、静岡県、山梨県、長野県、神奈川県などの約20エリアが参画し、地域を超えた交流も行っています！

Point 2

見て聞いて感じたことを プロに学び、創造する。

自分たちが住む“まち”をもっと知るために、実際に足を運んで子どもたちが取材をします。プロのクリエイターに素材づくりのノウハウを教わりながら、写真を撮ったり、イラストを描いたり、文章を書いたりして、目で見て聞いて感じたことをカタチにしていきます。みんなの集めた情報をプロが冊子にまとめて完成です！

Point 3

子どもも大人も地域を 知り繋がるきっかけに！

子どもたちが世代を超えて出会う人々と交わすコミュニケーションは、かけがえない思い出や体験。“まち”の魅力を知れば知るほど好きになり、自分の居場所になっていく。“まち”のために何ができるだろうと考える人がひとりでも多く育って欲しい。『COLOMAGA Project』はそんな想いで活動しています。



私たちの活動は、SDGsの「No.4-質の高い教育をみんなに」「No.11-住み続けられるまちづくりを」を実現する実践者として、ESD-J(持続可能な開発のための教育)の「未来を変える人づくり」活動として高く評価されています。2018年、経済産業省が制定した「キッズデザイン賞・子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門」にて受賞いたしました。

各地域で続々と コロマガ活動エリアが 拡大中!!

GOOD DESIGN AWARD 2023年度受賞

COLOMAGA projectは10年間の実績と各地域の参加者の子どもたち大人たちの取り組みが評価されました。



企業・団体・個人さまとのコラボ募集中!!

立ち上げ・応援・視察・講演・コラボなど、コロマガはさまざまなカタチで参加することができます。詳しくは公式サイトよりお問い合わせください。



コロマガに
参加したい



コロマガを
応援したい



コロマガを
視察したい



コロマガの
講演を聴きたい



コロマガと
コラボしたい



COLOMAGA Project
公式ウェブサイト

各地域ごとに有志で集い、資金調達にも日々励んでおります。
ご支援のほど、ぜひお待ちしております。

編集後記

子どもクリエイター（内浦西浦の小学4年生から中学1年生）（五十音順）



子ども編集部（高校生）



うらっちVol.6を手にとってください、御覧いただき、ありがとうございます。地元の子どもたちが、取材先で見て、聞いて、五感で感じたことを様々な表現方法で伝えています。今号は、地域の恵みを生かしながら活躍する方々への取材を通して、子どもクリエイターたちならではの気づきや思いがたくさん詰まった珠玉の一冊となっています。子どもたちが発見した内浦・西浦の魅力を読者のみなさんにもぜひ感じていただければ幸いです。最後に、取材・制作にあたり、御支援・御協力いただきました皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。（水野靖弘）

講師の方たち



コロマガプロジェクト沼津内浦西浦制作運営協議会



サポートスタッフ



制作：コロマガプロジェクト沼津内浦西浦制作運営協議会
コロマガプロジェクト本部総括 浅井由剛

デザイン：株式会社NDC&DESIGN 大木真実、佐野江香

イラスト：表紙 / Arisa 裏表紙 / けい

後援：沼津市
沼津市教育委員会
ESD-J(NPO法人持続可能な開発のための教育推進会議)

問い合わせ：コロマガプロジェクト沼津内浦西浦制作運営協議会 事務局
〒410-0234
静岡県沼津市西浦平沢92-4
TEL 090-1410-8778

制作・運営協力：内浦連合自治会、西浦連合自治会
沼津市立長井崎小中一貫学校
内浦漁業協同組合
内浦西浦オリジナルTシャツ企画Locate
奥村顕祥、今井瑞希
COLOMAGA pj全国の仲間
※順不同、敬称略

サポーター（ご寄付をいただいた皆様）：
社会福祉法人宏寿会、西浦柑橘出荷部会、内浦漁業協同組合、内浦プロデュース
内浦コミュニティ推進委員会、西浦コミュニティ推進委員会、(有)岸野組、わっしょ
野村芳照、富士伊豆農業協同組合、菊地利男、明日風Style、かめちゃん、杉山益代
辻木工所、山下孝弘、大木成子、海瀬千秋、(一社)社会課題協議会
オリジナルTシャツ・トートバッグ／うらっちTシャツ・缶バッジを購入いただいた方々
※順不同、敬称略